

質 問 回 答 書

三宅町DX推進リーダー育成業務について、次の項目を回答いたします。

質問項目	質問内容	回答
4. 業務の内容 (ウ) 生成AI活用研修	生成AIサービスは、インターネット接続環境で利用されるご予定でしょうか。	お見込みのとおりです。
4. 業務の内容 (ウ) 生成AI活用研修	生成AIサービスにM365 Copilotをご提案させていただく場合には、M365ライセンスが必要となりますが、M365のライセンスは既に貴町でご利用されておりますでしょうか。	M365ライセンスは現在本町で利用しておりませんので、M365ライセンスが必要となる場合はそちらも委託料に含めてください。
4. 業務の内容 (ウ) 生成AI活用研修	「各月に5,000,000 トークン程度利用できること。」との記述について、20名の利用者全体で月間5,000,000トークン程度を利用できれば良いという理解でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
4. 業務の内容 (ウ) 生成AI活用研修	「各月に5,000,000 トークン程度利用できること。」との記述について、トークン数ではなく文字数で料金体系が設定されたサービスをご提案する場合に、何文字程度の利用を想定されますでしょうか。	3,000,000文字程度を想定しています。
9. 再委託	「本業務の実施にあたり、再委託が必要となる場合は、事前に本町の承認を得ること。」との記述について、再委託がNGとなるケースがありましたらご教示ください。 例) 再委託金額が、委託料の〇%以内等	再委託が不可となる場合の基準は設けていません。
4. 業務の内容 ③ 開催方法等	貴市で既に導入されているITツールをご教示いただけますでしょうか。 例) kintone・DX Suite (AI—OCR) 、WinActor (RPA) など	例示されたITツールと類似するものは本町では導入していません。

4. 業務の内容 (エ) フォローアップ	「受講者が研修を経て検討した改善策の実装に向けたフォローを実施すること。フォローアップについては現地で対面での実施を原則とし」との記述について、研修後の改善策の実装に関するフォローアップは現地対面での実施が原則であり、研修期間中の受講者からの問い合わせ対応等については、メール及びWeb会議での実施とさせていただいてもよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。現地対面での実施日以外については、メール及びWeb会議での実施で問題ありません。
4. 業務の内容 ③ 開催方法等	「各研修は1回あたり最大3時間とすること。」の記述について、研修の回数は指定がないという認識でよろしいでしょうか。 各研修（DXマインド醸成、BPR実践、生成AI活用）の想定実施回数がありましたらご教示ください。	研修の実施回数に指定はありませんが、DXマインド醸成研修、BPR実践研修、生成AI活用研修それぞれ1回程度を想定しています。
4. 業務の内容 ① 研修受講者	研修対象者の選定方法（例：手上げ、上司推薦など）、及び選定基準についてご教示ください。 例）手上げ、上長の推薦など	現時点では未定です。
11. その他 ① 機器や会場手配	研修会場では、受講者はそれぞれ1台ずつPCを利用することができ、そのPCは貴庁でご準備いただける理解でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
4. 業務の内容 ① 研修受講者	本研修の受講者がこれまで受講された研修もしくは本研修以外で受講予定の研修があれば、研修内容について可能な範囲でご教示ください。	関連の研修について、受講経験及び受講予定はありません。
7 審査方法 (1) 審査基準	見積金額について、金額の適切性が審査基準となっておりますが、安価である方が評価が高いという基準ではないという認識でよろしいでしょうか。	見積金額の審査について、安価である方が評価が高くなります。
仕様書 「5. プロジェクト管理」	月1回の定例会議について、参加者はプロジェクト全体の責任者や運営担当者とし、研修を担当する講師の参加は必須ではない、という認識でよろしいでしょうか。また、会議の実施期間は、仕様書全体の委託期間である令和8年3月31日まででしょうか、それともフォローアップ期間が終了する令和7年11月まででしょうか。	参加者につきまして、お見込みのとおりです。 会議の実施期間はフォローアップ期間が終了する11月までを想定しております。
仕様書 「4. (1) ② (エ) フォローアップ」	フォローアップについて令和7年9月から11月の期間中に実施する回数の目安（例：各職員に1回、全体で3回など）や、1回あたりの時間の想定はありますでしょうか。また、実施形式は受講者20名を集めた形式か、個別またはグループ単位での相談形式か、どちらを想定されていますでしょうか。	実施形式は20名の集合形式及び個別等の相談形式両方の実施で、1回あたりの時間は集合形式で1～3時間程度、相談形式で4時間から8時間程度を想定しています。実施回数については、合計5回程度を想定しております。

仕様書 「ウ 生成 AI 活用研修」	利用する生成AIサービス（20ユーザー、3ヶ月分）の契約は、貴町が直接サービス提供事業者と行う想定でしょうか。それとも、弊社（受託者）が契約し、その費用を委託料に含める形でしょうか。後者の場合、契約名義は弊社で問題ないでしょうか	生成AIサービスは委託料に含めていただき、受託者が契約等の利用準備を行ってください。契約名義につきましては、本町職員がサービスを利用できる形式であれば、受託者の名義で差し支えありません。
仕様書 「オ ）研修やフォローアップの実施に当たって」	「オ ）研修やフォローアップの実施に当たって」考慮すべき「奈良県下の状況」について、特に重要視されている点（例：近隣自治体との連携、県が推進するDX施策との関連性など）があれば、具体的に教えていただけますでしょうか。	特に重要視する点はありません。例示された内容を含む全体的な状況を踏まえ、適切に対応してください。
仕様書 「10. 権利の帰属」	著作権が貴町に帰属する成果物は、「本業務の履行過程において、受託者が新たに作成した成果物」を指すという理解でよろしいでしょうか。弊社が元々保有している既存の教材やノウハウについては、本業務の成果物には含まれず、著作権帰属の対象外という認識で相違ないでしょうか。	お見込みのとおりです。